

募集専修部門の主な研究内容及び特修科目等

《応用数学専攻 博士課程前期》

令和8年度4月入学生を募集する専修部門と主指導教員及び主な研究内容

専修部門	主指導教員	主な研究内容
代 数 学	教授 博士(理学) 佐藤 拓	代数幾何学
	教授 博士(数理科学) 島倉 裕樹	有限群論
位相数学	准教授 博士(数理学) 宮内 敏行	代数的位相幾何学
幾 何 学	教授 博士(理学) 佐野 友二	微分幾何学
	准教授 博士(理学) 三石 史人	リーマン幾何・距離幾何
解 析 学	教授 博士(理学) 竹田 寛志	偏微分方程式論
応用解析学	教授 博士(理学) 田中 尚人	微分方程式論
	講師 博士(理学) 石井 裕太	非線形偏微分方程式
統計数理	准教授 博士(理学) 天羽 隆史	確率解析
情報数理	教授 博士(工学) 藤木 淳	コンピュータビジョン
	教授 博士(情報科学) 松浦 望	離散可積分系
	准教授 博士(理学) 一木 輝久	統計力学・確率過程・機械学習

授業科目、単位、担当者及び履修方法、主な研究内容(令和7年度現在)

※令和7年度開講科目は、シラバス（授業内容含む）をWebで公開しております。「電子シラバス 福岡大学」で検索の上、参照ください。

主要科目

専修部門	授業科目	単位数	担当者	主な研究内容
代数学	代数学講究Ⅰ	4	教授 博士(理学) 佐藤 拓	代数幾何学
	代数学講究Ⅱ	8	教授 博士(数理科学) 島倉 裕樹	有限群論
位相数学	位相数学講究Ⅰ	4	教授 Ph.D 石黒 賢士	ホモトピー論
	位相数学講究Ⅱ	8	准教授 博士(数理学) 宮内 敏行	代数的位相幾何学
幾何学	幾何学講究Ⅰ	4	教授 博士(理学) 佐野 友二	微分幾何学
	幾何学講究Ⅱ	8	准教授 博士(理学) 三石 史人	リーマン幾何・距離幾何
解析学	関数解析学講究Ⅰ	4	教授 博士(理学) 竹田 寛志	偏微分方程式論
	関数解析学講究Ⅱ	8		
応用解析学	複素解析学講究Ⅰ	4	未定	—
	複素解析学講究Ⅱ	8		
統計数理	応用解析学講究Ⅰ	4	教授 博士(理学) 田中 尚人	微分方程式論
	応用解析学講究Ⅱ	8	講師 博士(理学) 石井 裕太	非線形偏微分方程式
情報数理	統計数理講究Ⅰ	4	教授 博士(理学) 桑江 一洋	測度論と確率解析
	統計数理講究Ⅱ	8	准教授 博士(理学) 天羽 隆史	数理ファイナンスと確率解析
	情報数理講究Ⅰ	4	教授 博士(工学) 藤木 淳	コンピュータビジョン
	情報数理講究Ⅱ	8	教授 博士(情報科学) 松浦 望	離散可積分系
	情報システム講究Ⅰ	4	准教授 博士(理学) 一木 輝久	統計力学・確率過程・機械学習
	情報システム講究Ⅱ	8	教授 理学博士 白石 修二	並列計算理論

特修科目

- 1 学生は、主要科目のうちから1専修部門を選定し、そのうちの一つの講究（I・II）を選択して、これをその学生の専修科目とする。
 - 2 学生は、専修科目担当者のうちの1人を主指導教員とし、専修科目及び専修科目以外の科目の選定並びに学位論文の作成、その他研究一般についてその指導を受けるものとする。
 - 3 前項のほか、学生は、主指導教員が定めた副指導教員の指導も受けるものとする。
 - 4 学生の標準修業年限は2年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得しなければならない。
 - 5 前項の30単位以上は、専修科目12単位及び特修科目18単位以上とし、主指導教員が必要と認めた場合、他の専攻又は研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。
 - 6 学生は、主指導教員を主査として、専修科目について修士の学位論文を提出し、論文審査及び最終試験に合格しなければならない。